

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

十条小学校 3年特設「バスケットでプログラミングを体験」

プログラミング教材「バスケット」は、描いた絵を画面上のメガネ内に配置することで、簡単に様々な動きをつけることができます。

絵を適当に配置しても動き出しますが、この授業では、それで終わるのではなく、コンピュータに意図した動きをさせるには、絵をどこに配置すればいいのかを児童が考え、試行錯誤を通して見付けるように組まれています。

教師があえて動きの部分の説明しないことで、児童が自ら発見し、自然に友達との共有や教え合いが生まれていました。



赤羽小学校 4年国語「新聞をつくろう」

相手や目的を意識して新聞をつくる学習で、テーマや内容はグループで相談して決めました。児童は「きたコン」で、

①アイデアを絞るためのロイロノートの「思考ツール」

②ロイロノートを複数人で同時に編集ができる「共有ノート」

③アンケートを行うための「Google フォーム」などを使いこなして活動を進めていました。伝えたいことや表現する方法、完成までの学習計画等をグループで話し合っただけで、児童はとても意欲的に取り組んでいました。



思考ツール

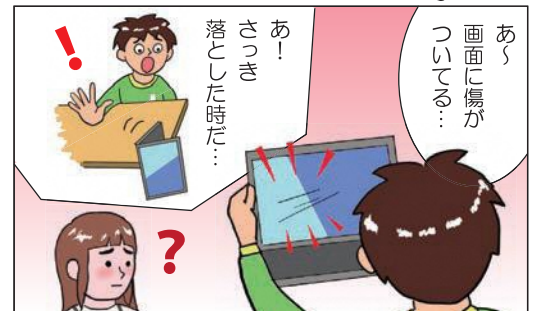
赤羽岩淵中学校 1年特設「情報モラル指導」

ネット社会における情報の特性を知り、適正な情報活用を考えることがねらいの学習です。フェイクニュースを扱った動画教材を視聴して、フェイクニュースやデマ情報が氾濫している現状を把握しました。その後、生徒は他にも虚偽情報がないかを検索して調べ、グループで持ち寄り、問題と対策を話し合っただけで、発表しました。

全体での発表を通して、「発信元を確認する」、「他のメディアでも情報を確認する」など、生徒は情報の適正利用に大切なことを学びました。



きたちゃんコンちゃん by Toshi



「きたコン」をきれいにしましょう！

1年間、学習のパートナーとして使ってきた「きたコン」。来年度も一緒に学習をすることになりますが、小学校6年生と中学校3年生の「きたコン」は、新1年生が使います。「きたコン」をきれいにし、来年度、自分も新1年生も気持ちよく「きたコン」を使うことができるようにしましょう。

「きたコン」クリーニングのポイント

- ・本体やキーボードをやわらかい、乾いた布などで拭きます。
- ・画面の皮脂が気になる場合は、液晶用ウェットティッシュでやさしく拭きます。
- ・故障や破損が見付かった場合は、すみやかに担任に報告します。

